

研究科の特長

長期履修制度

標準修業年限にとらわれず、自身のライフスタイルに合わせて計画的に学ぶことができる制度です。修士課程では標準修業年限の2年を超えて3年に延長することができます。また授業料の納付は、標準修業年限分の授業料を3年で分割納付することができます。

年次	1年	2年	3年	4年	5年
標準履修者	最大在学年限(4年)				
	履修期間(2年)		履修延長(最長2年)		
長期履修者	最大在学年限(5年)				
	履修期間(3年)			履修延長(最長2年)	

遠隔授業

1年次前期の授業について、大学院生が勤務の都合で登校できない場合は遠隔授業を利用できます。リアルタイム授業と後日動画視聴する2つの方法が選択できます。
※授業形態によっては後日授業を受ける場合があります。

大学院独自奨学金給付制度

学生の修学に伴う経済的負担を軽減するための奨学金(給付型)を用意しています。本学卒業生については申請により授業料の1/2が給付され、それ以外の者は授業料の1/3を給付します。さらに本学卒業生は申請により入学金を半額免除します。

区分	学費		大学院修了までに必要な学費合計	奨学金合計	奨学金を利用した場合の実質負担額
	入学金	授業料(年額)			
本学卒業生	100,000円 半額免除	900,000円	1,900,000円	900,000円 授業料の1/2	1,000,000円
長期履修者	200,000円		2,000,000円	600,000円 授業料の1/3	1,400,000円

修士論文作成の研究支援

在学期間中に研究費補助として **総額60,000円** を補助します。

理解が深まる少人数制

単に知識を修得するだけでなく、授業、演習とは別に勉強会を開き、お互いの研究の意見交換をすることで深い理解と幅広い視野を身につけることができます。

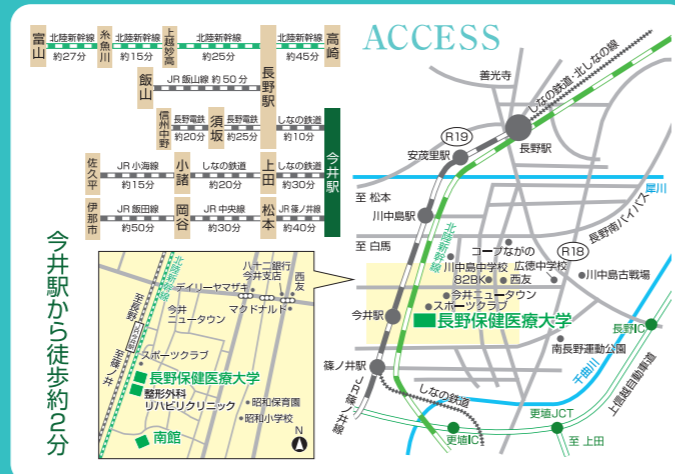
大学院説明会・個別相談会

説明会日程・申し込みは大学院ホームページを確認ください。
<https://shitoku.ac.jp/postgraduate/request/>



大学院入試

入試日程等の詳細については大学院入試をご確認下さい。
<https://shitoku.ac.jp/postgraduate/admissions/>



長野保健医療大学大学院

Graduate School of Nagano University of Health and Medicine

保健学研究科 保健学専攻

大学院で、自分でものを考える時間を楽しもう
大学院に行こう

大学院生研究室
Room for Graduate Students



大学院 保健学研究科 保健学専攻(修士課程)

長野保健医療大学大学院は2021年度に開設され、
専門職医療人並びに専門職教育者を育成し、
2023年度には一期生が修了し、各分野で活躍しています。

大学院が養成する人材像について

本研究科において養成する人材像は、基盤とする学部の看護学、理学療法学、作業療法学を統合した学際的視野に基づいて幅広い学識を涵養し、研究能力や高度な専門的職業を担うための卓越した能力を培うことにより、高度な専門性や研究能力・教育能力を持ち、組織内、医療チーム内の枠を超えて、組織横断的に活躍でき、調整力やマネジメント力を発揮できるような人材、及び専門職医療人を育成できる人材です。



長野保健医療大学大学院
保健学研究科 研究科長 岩谷 力

本研究科について

研究科長に聞いてみました

■ どんな学生を求めていますか

- こんな考えを持っている人、
私たちと学び、研究しませんか
- 仕事上の疑問を解き明かす 研究をしたい
 - 知識・技能を高め専門性を向上させたい
 - 後輩を育てる教職に就きたい
 - 職場チームの枠を越えたマネジメントができる 管理職を目指したい

■ 修士を取得した者に期待すること

大学院修了後の皆さんには、
修得した知識、技能を活かして職場や社会でのキャリアアップに役立てること、教育職、研究職などを目指してさらなる能力開発・自己啓発を目指す足がかりにすることを期待しています。

■ 入学を考えている皆さんへ

大学院入学を考えている皆さん、
大学院説明会にご参加ください。ご希望に沿えるよう個別相談会を設定します。
当大学院では、長期履修制度、奨学金給付制度、在学中の研究費補助制度があり、社会人として働きながら学ぶことができます。詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

■ 大学院で何を学び、研究をするのか

大学院では、
講義を通じて、基礎知識を深化させ、最新の知識・技術を学び、科学的研究法を習得します。また、指導教員の指導のもとで研究に取り組み、成果を論文として、学会、学術誌に発表してもらいます。

なぜ本大学院を選んだのか

自分の卒業校でもあり、大学院が新たに開設されたことを知って、興味を持ちました。馴染みのある学校で、当時の勤務地からも近かったことから選びました。卒業生は入学金が1/2免除になるなど卒業生によるメリットも大きかったです。

仕事との両立で工夫したこと

スケジュール管理は工夫しました。子育てもしていたので、仕事をして、こどもの寝かしつけをした後に、課題をしたり、修士論文を作成していました。一気に集中してやるというよりも、1日の中で隙間時間を見つけては、少しずつ取り組んでいました。

修了後に 教員の道を選んだ動機

元々、臨床実習の学生指導などをよくしており、学生教育には興味がありました。その中で、研究活動もやっていきたい思いがあり、学生教育も研究活動もやっていくことができる道として、教員という道を選びました。

大学院修了生 インタビュー



令和4年度修了
保健学専攻 近藤 優樹さん
令和6年度より本学教員になりました
【作業療法士】

修士を取得しようと思ったきっかけは

当時、病院勤務で神経発達症の児童やその保護者を中心に作業療法を提供していましたが、睡眠の質が悪いと日常生活や作業療法の治療効果に影響すると感じていました。しかし、それには確かな根拠はなく、きちんと検証して、根拠のある知見の中で患者さんや家族の支援をしないといけないと感じて、研究法を学ぶために大学院に進学しました。

大学院の学びで 楽しかったこと 苦労したこと

指導教官の先生方や院生の仲間とともに研究テーマを深め、様々な論文を読み、調査、分析をする作業は苦労しましたが、楽しさもありませんでした。仕事もこなしながらの大学院通学で大変さもありましたが、遠隔での授業参加など配慮いただき、先生方も学生一人ひとりに時間を取って、丁寧に指導してくださいました。

実際に履修した科目について

科目区分	授業科目の名称	単位	
		必修	選択
共通科目	医療倫理学	2	
	多職種連携論	2	
	医療コミュニケーション論		2
	保健医療マネジメント論		2
	応用統計学		2
	医療英語研究	2	
	保健医療教育論	2	
	保健医療教育実践論		2
	保健医療研究法	2	
	小計	10	8
専門科目 看護・リハビリテーション分野	保健学総論	2	
	ケア提供システム特論		2
	ケア提供システム演習Ⅰ		2
	ケア提供システム演習Ⅱ		2
	人間発達ケア特論	2	
	人間発達ケア演習Ⅰ(理学療法学)	2	
	人間発達ケア演習Ⅱ(理学療法学)	2	
	人間発達ケア演習Ⅰ(作業療法学)	2	
	人間発達ケア演習Ⅱ(作業療法学)	2	
	人間発達ケア演習Ⅰ(看護学)	2	
	人間発達ケア演習Ⅱ(看護学)	2	
	健康コミュニティ特論	2	
	健康コミュニティ演習Ⅰ	2	
健康コミュニティ演習Ⅱ	2		
小計	2	26	
特別研究科目	保健学特別研究	10	

大学院1年目:大学院 時間割表(前期) 大学院講義は火曜日と土曜日に開講

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
月					
火	医療英語研究	保健学総論	保健医療教育論	人間発達ケア特論	
水					
木					
金					
土	保健医療教育実践論	保健医療研究法	応用統計学	医療倫理学	多職種連携論

大学院1年目:大学院 時間割表(後期) 1年前期は座学が中心で、1年後期より演習を開始

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
月					
火	人間発達ケア演習Ⅰ(作業療法学)	人間発達ケア演習Ⅰ(作業療法学)	人間発達ケア演習Ⅱ(作業療法学)	人間発達ケア演習Ⅱ(作業療法学)	
水					
木					
金					
土	保健学特別研究	保健学特別研究			

大学院2年目:大学院 時間割表(通期)

	1時限	2時限	3時限	4時限
月				
火	保健学特別研究	保健学特別研究		
水				
木				
金				
土	保健学特別研究	保健学特別研究		

1年後期～2年目は指導教員指導のもと研究活動!
2年後期からは修士論文発表に向けて論文作成が本格化!

